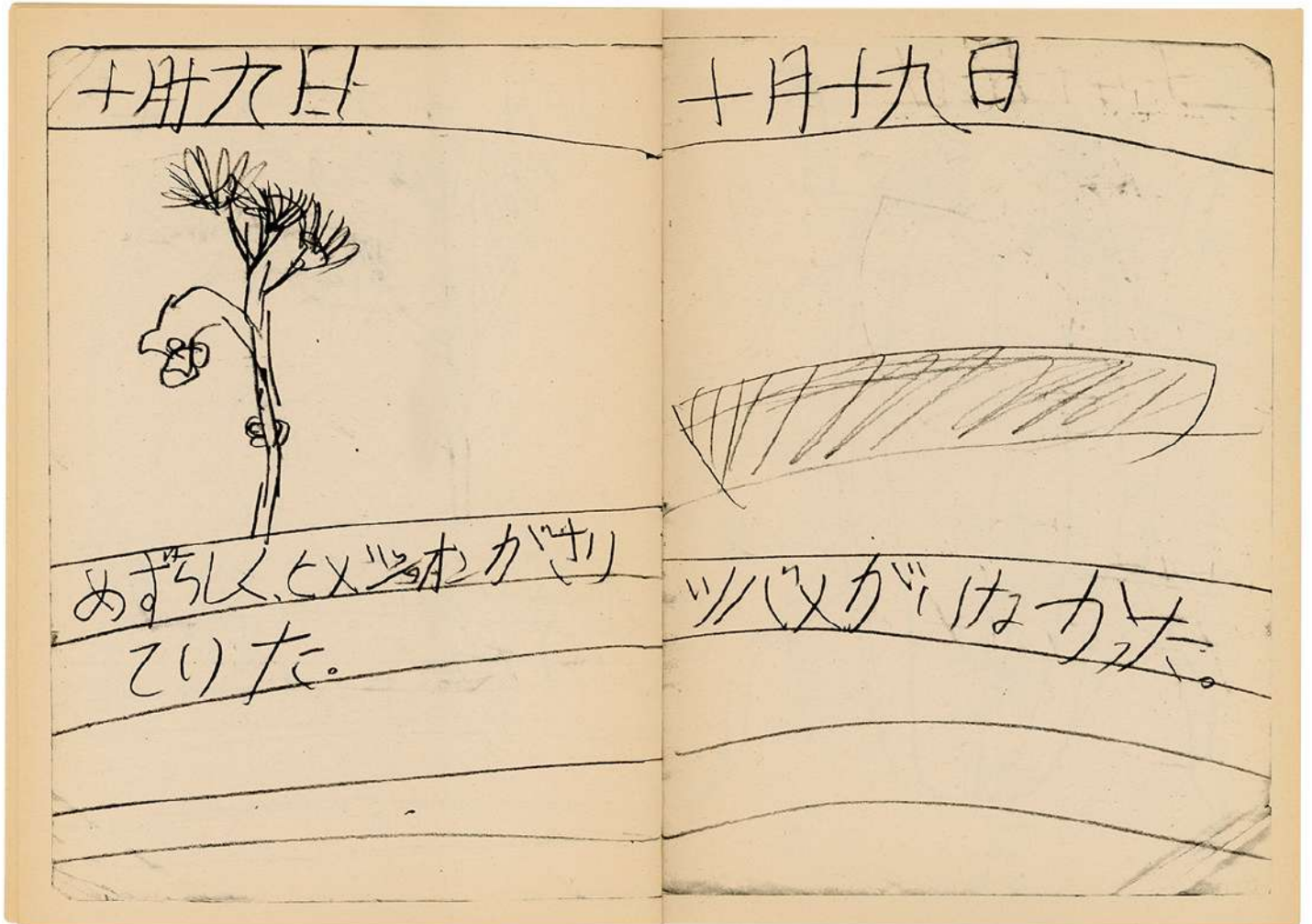




LEARN

東京大学先端科学技術研究センター
個別最適な学び寄付研究部門

今ある枠に収まらない何かを。



| 1966****age8 COMPILATION | KEIJI ITO

やり続ける展

2024

作品募集

やり続ける展

2024

作品募集

誰に評価されるためではない。何かの役に立つためでもない。ただひたすらにやり続けている人がいる。描き続ける人。つくり続ける人。調べ続ける人。東大先端研 個別最適な学び寄付研究部門LEARN事務局には、そうしたやり続ける人からのさまざまなものが日常的に寄せられています。そこには、今ある枠に収まらない何かがある。今年のLEARN ONEでは、そんなやり続けているものを、みんなで眺めてみたいと思います。この展覧会用につくるのではなく、ふだんやり続けているものを写真に撮って、https://learn-project.com/learnone_yaritsuzukeru/ からご応募ください。自薦でも他薦でも構いません。私たちがどれが良いと、選ぶことはしません。なぜならやり続けているものは、どれも素晴らしいからです。一点だけ制約があるのは、小さな事務局で運営している都合上、多くの作品を扱うことができないため先着100名までとさせていただきます。(それを越えた場合は、次回以降のお楽しみとさせていただきます)。100作品の写真を、映像とウェブサイト、そして小冊子に掲載させていただきます。小さめの作品については実物を井の頭公園ひょうたん池の側にあるギャラリー「ノ離れ」にて展示、ゲストにイラストレーターの伊藤桂司さん、コピーライターの高木基さんをお迎えして、みんなで作品を眺めるイベントを予定しています。生前に売れたゴッホの絵は、ほんの数枚でした。芸術のはじまりとは、本来そういうものなのではないでしょうか。皆様からのご応募お待ちしております。

概要

主催: やり続ける展実行委員会、東大先端研 個別最適な学び寄付研究部門LEARN 協力: atacLab

募集締め切り: **令和6年 3月31日(日)**

対象: 何かをやり続けている方であれば、どなたでも。 参加費: 無料

作品形式: 自由

絵、文章、立体、オブジェ、データ、写真……形式は何でも構いません。一点でも作品群でも。群の場合は、それらのやり続けているものを、一枚に収めた写真でご応募ください。また表現でないもの、観察や分析、研究でも構いません。映像や音声など写真で伝わらないもの場合は、事務局にお問い合わせください。

お申込み方法: https://learn-project.com/learnone_yaritsuzukeru/より、お申し込みください。



注意事項: *先着100作品までとなります。

*他のコンペに応募している作品、公序良俗に反する作品は掲載できません。

*画像だけで作品が分かりにくい場合は、送付いただくことがあります。

*小さめの作品については「ノ離れ」で実物展示をお願いすることがあります。

お問い合わせ先:

東京大学先端科学技術研究センター「個別最適な学び」寄付研究部門 LEARN事務局

Email info@learn-project.com / TEL 03-5452-5064 Webサイト <https://learn-project.com>

ゲスト

伊藤桂司さん (イラストレーター)

UFG Inc. 代表。京都芸術大学・大学院教授。広告、書籍、音楽関係のアートディレクション、グラフィックワーク、映像等を中心に幅広く活動する。

高木基さん (コピーライター)

広告の枠を超え、書籍、展示、番組、新聞、プロダクト、空間、ゲーム、Tシャツ、レシート、看板、ベンチ等さまざまな定着を「言語」を軸に行っている。